

第 11 章

外部資金への申請と採択状況

インフラ長寿命化センターは、“人”、“もの”、“場所”、“お金”もないバーチャルなセンターを有効活用し、外部資金等を獲得して、実質的な工学部センターとして機能させたいという趣旨で設立が認められた。したがって、インフラ長寿命化センターの兼務教員には、科学研究費やその他の競争的外部資金の獲得に向けて応募するようお願いしている。

以下に、本センター兼務教員の競争的外部資金の獲得状況について記載する。

11.1 科学研究費補助金採択（インフラ長寿命化センター兼務教員）

種 目	期 間	研 究 課 題 名	H28 年度 交付金額 (千円)	研究代表者
基盤 B	継続 26～30 年	結晶組織と伸び性能による高張力鋼の疲労亀裂伝播特性の革新的向上に関する研究	2,340	勝田順一
	継続 27～30 年	有用微生物を用いた新たな地盤環境改善技術と国土保全への新展開	4,290	大嶺 聖
基盤 C	継続 26～28 年	高速インテリジェント制御 IC を用いた MHz 駆動高電力密度電力変換器の開発	1,040	石塚洋一
	継続 26～28 年	電磁波を利用したフレッシュコンクリート一括診断と電磁波レーダ法の改善	1,040	田中俊幸
	継続 26～29 年	「災害の痕跡」の災害遺産化に関する基礎的研究	1,170	安武敦子
	継続 26～28 年	ひび割れが目立たない RC 系耐震壁の開発	910	中原浩之
	新規 28～30 年	湿潤汚損面における局部放電の放電形態と発光スペクトルおよび電流との関係	1,040	山下敬彦
	新規 28～30 年	き裂の 3 次元制御進展による超高強度平滑面の創成	1,950	才本明秀
基盤 C (特設)	継続 26～28 年	高齢化が進む離島集落の再編に資する横断的研究	1,690	安武敦子
萌芽	継続 26～28 年	MRI と強磁性ナノ粒子による植物内水分輸送機構の 3 次元測定	0	山口朝彦
	継続 26～28 年	除染で発生する除去土壌および有機系廃棄物の安定化技術としての微生物電池の適用	1,430	大嶺 聖
若手 B	継続 26～29 年	光学的計測法を用いた PC 建造物の革新的現有用作用応力測定法の開発	2,600	出水 享

11.2 インフラ長寿命化センター関連の事業・研究に関する外部資金

種 目	契約相手	研 究 課 題 名	金額 (千円)	代表者
受託研究	文部科学省	平成 28 年度「成長分野等における中核的専門 人材養成等の戦略的推進」事業	18,818	松田 浩
	長崎県	道守育成支援業務委託	2,998	松田 浩
	国立研究開 発法人科学 技術振興機 構(JST)	インフラ維持管理に向けた革新的先端技術の 社会実装の研究開発(SIP)	30,000	松田 浩
受託事業	長崎市	長崎市土木技術職員育成支援業務委託	1,195	松田 浩

11.3 その他の兼務教職員の外部資金

受託研究、共同研究、委任経理金の件数と金額の一覧を示す。

(H29.1.25 現在)

事 項	平成 28 年度	
	受 託 研 究	17 件
共 同 研 究	7 件	17,095 千円
委任経理金	21 件	10,385 千円